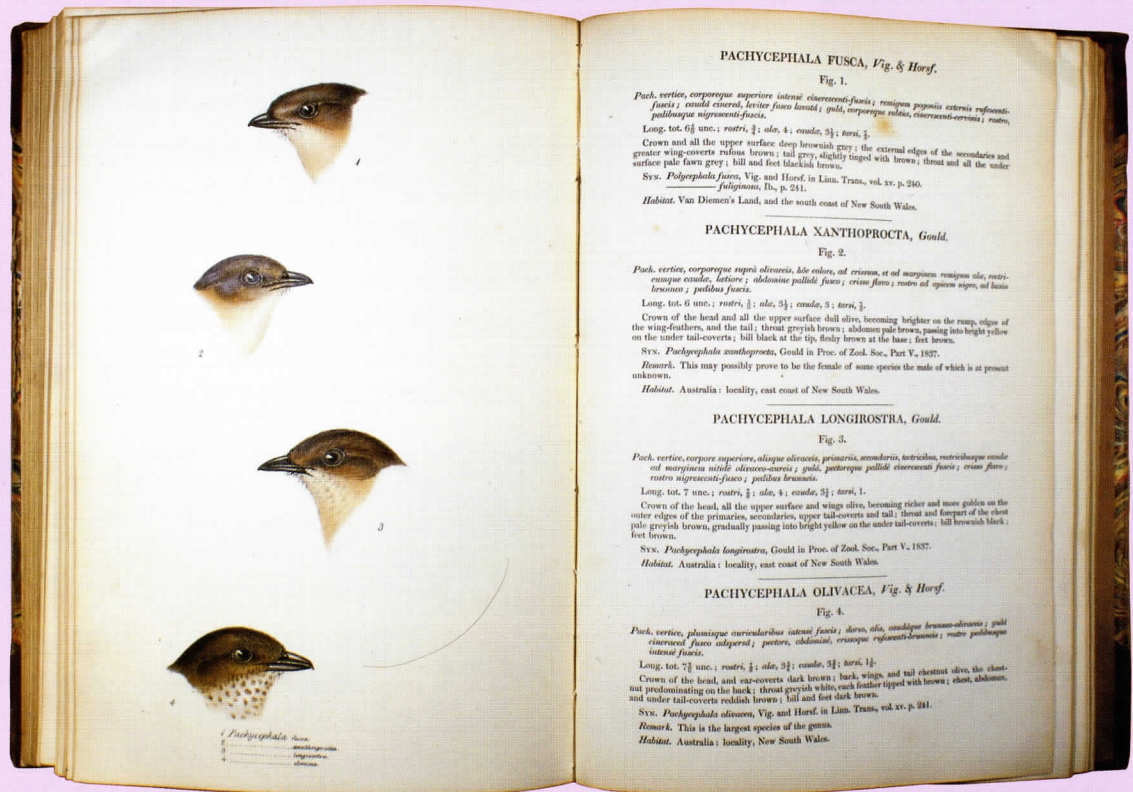


2012年9月1日

玉川大学教育博物館



目次

| |
|----------------------------|
| 新収資料紹介・ 資料をご寄贈いただきました…2 |
| 展覧会への招待……………3 |
| 新展示紹介・ 報告……………4 |
| 当館の教育活動・ 質問です……………5 |
| 開館カレンダー・ 利用案内……………6 |

オーストラリア及び近隣の鳥々における鳥類の概要

制作：ジョン・ゲールド

原画・石版制作：エリザベス・ゲールド 石版手彩色
28.2 × 19.7cm 73 図 (168 種掲載) 1837 - 38 年

この本は、ジョン・ゲールドが1840年から制作をはじめた『オーストラリア鳥類図譜』の前に出版した図譜です。当時彼は、オーストラリアに移住していた妻エリザベスの二人の兄に頼んで、オーストラリア産鳥類の標本や関連情報をイギリスに送ってもらっていました。送られてきた標本に関心を示したゲールドは、これらの鳥の何種類かを頭の部分だけ描いてこの本をまとめました。1838年5月、34歳のゲールドは、妻と7歳の息子ヘンリー、甥のヘンリー・コクスンとともに、帆船パルシー号でオーストラリアに向けて出発したのです。



1921（大正10）年8月1日から8日までの8日間、東京高等師範学校講堂にて「教育学術研究大会」が開催されました。この講演会は「大日本学術協会」という民間団体が主催し、一般に「八大教育主張講演会」と言われています。この当時、日本の学術研究は欧米諸国の成果の紹介に偏していました。主催者は従来のような翻訳紹介の会にしなため、1人1日として8人で8日間、午後6時から11時までの5時間を取り、内3時間を講師の発表、2時間を質疑応答や討議に当てました。そのため講師には功成り名遂げた著名人ではなく、教育界に新しい息吹を持ち込める人物を選びました。樋口長市、河野清丸、手塚岸衛、千葉命吉、稲毛金七、及川平治、小原國芳（本学創立者）、片上伸の8名です。

彼らの発表の共通点は自由や創造性を尊び、児童中心的傾向を持つことでした。後年小原國芳は、この会について「集まるもの恐らく四千名を越えたらう。大講堂ミッシリ。廊下もびっしり。窓も鈴なり。熱狂そのものだった。ホントに湧き立った」と述べています。その熱気が伝わってくる絵葉書です。 （白柳弘幸）

紙 9.1 × 14.1 cm 1921（大正10）年頃

資料をご寄贈いただきました（順不同・敬称略 2012年2月～6月）

| | | | | | | |
|-------------|--------|----------|-----|-------|-------|-----|
| 三岸 太郎 | 三岸黄太郎作 | 絵画 | 1点 | 澤崎 運平 | 同窓会報等 | 14点 |
| 財団法人野間教育研究所 | | 掛図 | 33点 | 鈴木昭治郎 | 同窓会報等 | 69点 |
| 野間 輝一 | | 同窓会報 | 1点 | 黒萩 泰弘 | 同窓会報 | 1点 |
| 池田 光隆 | | 教育史関係資料等 | 1点 | 藤沢 俊雄 | 同窓会報 | 2点 |
| 竹中美恵子 | | 同窓会報等 | 17点 | 岸 恒雄 | 同窓会報等 | 2点 |
| 内藤 重信 | | 同窓会報 | 1点 | 中西 敦雄 | 同窓会報 | 2点 |
| 林 達頭 | | 同窓会報 | 2点 | 高野 峰 | 同窓会資料 | 2点 |

ありがとうございました

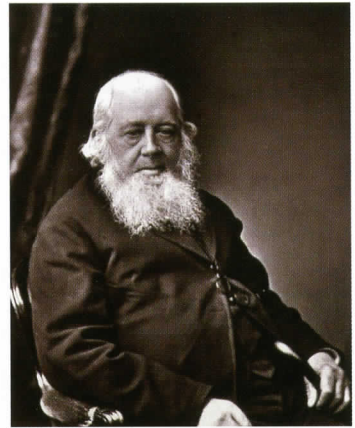
19世紀に活躍した博物学者ジョン・ゲールド（1804 - 1881）はイギリスのドーセット湾にあるライム・レグスという小さい漁村に生まれました。幼い頃から自然に親しんだ彼は、やがて剥製作りの技術を習得し、20歳の時にロンドン動物学協会附属博物館に勤務しました。鳥類に魅せられたゲールドは、1829年に画才を備えたエリザベス・コクスンと結婚し、1832年から妻の協力のもとに鳥類図譜の制作をはじめました。図譜は当時新しい印刷法として開発された石版画（リトグラフ）の技法を利用しています。

制作は、まずゲールドのラフスケッチや指示をもとに、画家たちが水彩による原画を作ります。次に原画を石版に転写し、石版印刷業者が製版と印刷を行います。そして刷りあがった墨刷り石版画に、彩色家が筆で色を加えて完成させました。販売は予約制で、できあがった分冊を予約者のもとに送り、分冊がそろった時点で予約者自身が製本するという形でした。

ゲールドが制作したインペリアル・フォリオ判（約56×39cm）の鳥類図譜には、『ヒマラヤ山脈百鳥類図譜』『ヨーロッパ鳥類図譜』『オオハシ科鳥類図譜』『キヌバネドリ科鳥類図譜』『オーストラリア鳥類図譜』『アメリカ産ウズラ類鳥類図譜』『ハチドリ科鳥類図譜』『アジア鳥類図譜』『イギリス鳥類図譜』『ニューギニア及びパプア諸島鳥類図譜』があります。

今回の展示内容はゲールドの鳥類図譜を中心に、鳥類の分類や鳥類についての理解を促す解説パネルなどを織り交ぜながら構成いたします。またゲールドの資料を多く所蔵するアメリカのカンザス大学スペンサー・ライブラリーの全面協力を得て、図譜の制作方法のコーナーを設け、工程を複製で再現いたします。この展示により、歴史的・文化的遺産として世界に誇る当館のゲールド・コレクションの魅力新たな角度から見ていただければ幸いです。

なお、観覧者にゆったりとした展示空間でゲールドの鳥類図譜を堪能していただくため、会期を前期・後期に分けています。皆さまのご来館をお待ちいたしております。（柿崎博孝）



ジョン・ゲールド（1875年撮影）



キンミノフウチョウ
『ニューギニア及びパプア諸島鳥類図譜』より

◆前期 2012年11月5日（月）～12月7日（金） 展示図譜 『ヒマラヤ山脈百鳥類図譜』『ヨーロッパ鳥類図譜』『オオハシ科鳥類図譜』『キヌバネドリ科鳥類図譜』『オーストラリア鳥類図譜』『アメリカ産ウズラ類鳥類図譜』『ハチドリ科鳥類図譜』

◆後期 12月10日（月）～2013年1月27日（日） 展示図譜 『ハチドリ科鳥類図譜』『アジア鳥類図譜』『イギリス鳥類図譜』『ニューギニア及びパプア諸島鳥類図譜』

◆時間 9:00～17:00（入館は閉館の30分前まで） 入館無料

◆休館日 土・日・祝日、11/13、11/22、12/18、12/22～1/6（11/10・11、11/23、12/15、1/12・19・26・27は開館）

◆学芸員によるギャラリートーク（予約不要）

2012年11月16日（金）、12月14日（金）、2013年1月18日（金） いずれも13:30～14:30（展覧会場）

新展示紹介 新教育の展開と玉川学園

企画展「石に描かれた鳥たち—ジョン・ゲールドの鳥類図譜」と同時開催で、「新教育の展開と玉川学園」の展示コーナーを設置します。この展示は玉川学園の教育や歴史理解を深めてもらいたいという目的と、2012年11月11日に教師教育リサーチセンターの主催で開催される「玉川教育フォーラム2012」と連動した内容になっています。

近代では産業化した社会に適した人材を育てるため、知識中心で注重的、画一的な教育が行われましたが、19世紀末から20世紀初頭にかけて、欧米諸国を中心にこうした教育を批判し、子どもの個性や自主性を尊重した新しい教育が唱えられるようになりました。これが新教育運動です。新教育運動は大正期の日本でも積極的に受容され、1921（大正10）年には本学園の創立者、小原國芳も参加した「八大教育主張講演会」が開催されるなど、大きな影響を与えました。

展示では、新教育運動の形成に影響を与えたルソーやペスタロッチ関連資料、レディ、ドモラン、デューイといった欧米の新教育運動の思想家たちの原著及び翻訳、「八大教育主張講演会」講演者をはじめとする日本の新教育運動家の著作などの資料を通して、わが国の新教育運動の受容と展開について示します。同時に小原國芳関連資料や学園出版物、デンマーク体操、スキー学習などの資料を通して、新教育運動と本学園との関連についても紹介いたします。

（宇野慶）

報 告

芸術学部卒業プロジェクト作品展

2012年2月22日から2月27日までの6日間、「玉川大学芸術学部ビジュアル・アート学科第7回卒業プロジェクト2012作品展」が、当館を会場に開催されました。卒業プロジェクトとして、美術・工芸・デザインの作品制作や論文作成取り組んだ学生65名の力作が展示されました。会期中の入館者は571名でした。



自作について学長に説明する学生

人の動き

2012年4月1日付けで学園マルチメディアリソースセンターから阿部敏雄・多賀譲治両研究員が転入しました。白柳弘幸学芸員は3月31日付で定年となりましたが、4月以降も引き続き嘱託職員として勤務します。

統計（2011年10月～2012年3月）

本館

開館日数 100日 入館者数 2882名

収集

| | | |
|---------|-------|------|
| 〔資料〕 | 日本教育史 | 337件 |
| | 芸術 | 2件 |
| 〔図書〕 | 和書 | 338冊 |
| | 洋書 | 10冊 |
| 〔定期刊行物〕 | 和雑誌 | 33冊 |
| | 洋雑誌 | 19冊 |

分室

| | | | |
|-----|--------|------|-----|
| 利用者 | 0名 | 資料提供 | 0件 |
| 収 集 | 玉川学園関係 | | 57件 |

当館の教育活動 大学一年次教育への対応

当館は一年次教育の場としても活用されています。大学一年次生向けの開講科目「一年次セミナー」の一環として、当館を利用した学習活動が行われており、春学期、ギャラリーはフレッシュマンで賑わいます。具体的な学習内容は指導教員に委ねられますが、当館は教員のリクエストに可能な限り応じて、学部教育のサポート役を果たしています。

一番多いのがクラスごとの見学です。担任教員に引率されて1クラス30名ぐらいの新生たちがやってきます。博物館のスタッフは冒頭に説明をして、当館の理念や主要な展示物、見学のマナーなどについて話します。時には学生たちの専攻分野と関係のありそうな話をして博物館の説明をする時もあります。また、クラスごとの見学ではなく、教員から事前に配布されたワークシートを手に、学生たちが自由にギャラリーを見学する姿もみられます。ワークシートの課題に取り組みながら、彼らは展示を観察する力や考える力、調べる力を培っていきます。(宇野慶)



クラス単位での見学



ワークシートを利用した学習活動

質問です

Q. 展示されている縄文土器で、白くなっている部分は何ですか？

A. 石膏といいます。それ以外のものを使う場合もありますが、材料の値段や取り扱いの容易さから、石膏が主に使われます。美術で彫刻の材料としたり、歯医者さんで歯型をとるのに使うのと同じものです。

遺跡の発掘調査をすると、土器はほとんどがバラバラに割れた、破片の状態で見つかります。たくさんの破片の中から、文様、厚さ、色、カーブの具合、粘土や混ぜ物の様子などを参考に、同じ土器のものとみられる破片を選び出し、パズルのように接合する部分を見つけていきます。接着剤（セメダイン）でつなぎ合わせますが、どうしても破片が見つからない部分があるのが普通です。

その欠落部を石膏で埋めて、丈夫に、そし

て展示で見ただけの形に復元します。石膏部分の形や文様は、破片の残っている部分の器形や文様のパターンを展開したり、あるいは他の遺跡から出土した類例などを参考にしながら、妥当な範囲で想定復元します。さらに仕上げに、石膏の上に絵具で色をつけ、土器の残っている部分との色調を整えることもあります。

博物館における資料修理は、資料本体に悪影響を与えないよう、また再度修理をする際の支障にならないように、修理をする前の状態に戻せる技法や材料を使うのが一般原則です。しかし土器の場合、まずはしっかりと形に復元しなければ、扱ったり展示したりすることができないため、この原則から外れますが、復元に石膏を使用するのです。

(菅野和郎)

2012年度下半期 開館カレンダー

2012年 10月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

11月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |

12月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 | | | | | |

2013年 1月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

2月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | |

3月

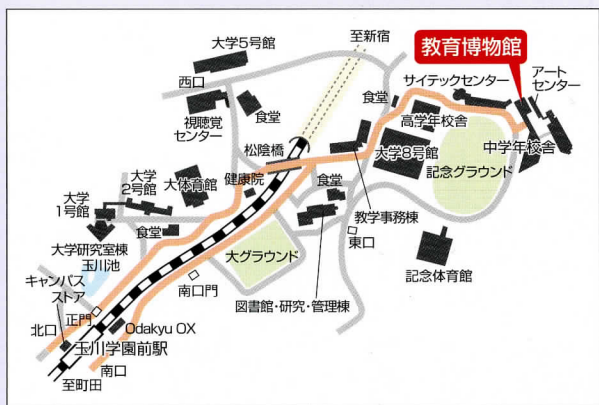
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

11月5日(月)～1月27日(日) 企画展 石に描かれた鳥たち—ジョン・グールドの鳥類図譜

休館日

第1展示室(日本教育史常設展示)のみ公開

※この予定は、電力事情、学事日程等により変更することがあります。
 詳細は当館ホームページをご覧ください、電話等にてお問い合わせください。



利用案内

- 開館時間** 午前9時～午後5時
 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間
 (日曜日・土曜日及び祝休日に大学の通常授業や学校行事が行われる場合、当館も臨時に開館することがあります。詳細はお問い合わせください。)
- 入館料** 無料

交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩15分
 駅南口を出て、線路沿いの道を見ながら新宿方向に進むと、玉川学園の校門(南口)に行き当たります。博物館の建物の位置は、校門の案内所でお尋ね下さい。
 (来館者用駐車場はありません。また校内での園児・児童・生徒・学生の安全のため、お車での来館はご遠慮下さい。)

博物館ニュース SHŪ No.39
 2012年9月1日
 編集・発行 玉川大学教育博物館
 〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1
 TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654
www.tamagawa.jp/research/museum/

『SHŪ』とは『集』、さまざまな「集められたもの」をめぐり、多くの人々の「集いの場」になることを目指して名づけたものです。